

令和8年度 札幌市交通事業予算の概要

軌道整備事業会計

1 予算総括表	2	頁
2 予算総括表〔上下合算〕（参考）	3	頁
3 財政状況の推移	4	頁

高速電車事業会計

1 予算総括表	5	頁
2 財政状況の推移	6	頁

令和8年度予算の主要事業	7,8	頁
--------------------	-----	---

札幌市交通局

1 予算総括表（税込）（軌道整備事業会計）

路面電車

（単位：千円）

区分			収入				支出				収支差引		
			項目	8年度予算(A)	7年度予算(B)	差引増減(A)-(B)	項目	8年度予算(C)	7年度予算(D)	差引増減(C)-(D)	8年度予算(A)-(C)=(E)	7年度予算(B)-(D)=(F)	差引増減(E)-(F)
当年度収入及び支出	収益的収入及び支出	経常収支	営業収益	1,021,000	992,000	29,000	営業費用	1,694,000	1,749,000	▲ 55,000	▲ 673,000	▲ 757,000	84,000
			施設使用料収入	1,018,000	989,000	29,000	人件費	84,000	100,000	▲ 16,000			
			土地物件賃貸料等	3,000	3,000	0	経費	744,000	727,000	17,000			
							減価償却費	866,000	922,000	▲ 56,000			
		営業外収益	830,000	768,000	62,000	営業外費用	52,000	64,000	▲ 12,000	778,000	704,000	74,000	
		長期前受金戻入	667,000	669,000	▲ 2,000								
		その他	163,000	99,000	64,000								
						予備費	5,000	5,000	0	▲ 5,000	▲ 5,000	0	
		小計	1,851,000	1,760,000	91,000	小計	1,751,000	1,818,000	▲ 67,000	100,000	▲ 58,000	158,000	
		特別利益	0	12,000	▲ 12,000	特別損失	0	0	0	0	12,000	▲ 12,000	
	計	① 1,851,000	1,772,000	79,000	計	② 1,751,000	1,818,000	▲ 67,000	③ 100,000	▲ 46,000	146,000		
資本的収入及び支出	企業債	848,000	484,000	364,000	建設改良費	1,876,000	2,006,920	▲ 130,920	収支差引(税抜)=当年度純利益				
	負担金	1,017,000	1,502,355	▲ 485,355	企業債償還金	299,000	290,000	9,000				④ 23,000	▲ 75,000
					他会計借入金償還金	42,000	73,000	▲ 31,000					
					予備費	10,000	10,000	0					
	計	⑤ 1,865,000	1,986,355	▲ 121,355	計	⑥ 2,227,000	2,379,920	▲ 152,920	⑦ ▲ 362,000	▲ 393,565	31,565		
当年度分損益勘定留保資金等			262,000	381,000	▲ 119,000					262,000	381,000	▲ 119,000	
合計			3,978,000	4,139,355	▲ 161,355	合計	3,978,000	4,197,920	▲ 219,920	0	▲ 58,565	58,565	
前年度末内部留保資金			424,761	483,326	▲ 58,565					424,761	483,326	▲ 58,565	
総計			4,402,761	4,622,681	▲ 219,920	総計	3,978,000	4,197,920	▲ 219,920	⑧ 424,761	424,761	0	

（単位：千円）

長期借入金残高	⑨ 424,000	466,000	▲ 42,000
---------	-----------	---------	----------

※ 7年度予算は現計予算（6決算置換・繰越を含む）である。

※ 8年度予算の当年度分損益勘定留保資金等は減価償却費866,000千円と固定資産除却費61,000千円、長期前受金戻入▲667,000千円、引当金計上及び取崩額等の資金調整額2,000千円を加えたものである。

2 予算総括表[上下合算] (税込)

㊦ 軌道整備事業

※交通局予算案

(単位：千円)

項 目		7年度 現計予算	8年度 予算
営業 収支	収入		
	施設使用料収入	989,000	1,018,000
	その他	3,000	3,000
	計	992,000	1,021,000
	支出		
	人件費	100,000	84,000
	経費	727,000	744,000
	維持管理費	541,658	613,982
	技術継承等負担金	40,336	39,704
	その他	145,006	90,314
営業外 収支	減価償却費	922,000	866,000
	計	1,749,000	1,694,000
	収入	768,000	830,000
	支出	64,000	52,000
	予備費	5,000	5,000
	差引	▲ 58,000	100,000
	特別利益	12,000	0
	特別損失	0	0
	収益的収支差引	▲ 46,000	100,000
	資本的収支		
資本的 収支	収入		
	企業債	484,000	848,000
	負担金	1,502,355	1,017,000
	計	1,986,355	1,865,000
	支出		
	建設改良費	2,006,920	1,876,000
	企業債償還金	290,000	299,000
	他会計借入金償還金	73,000	42,000
	予備費	10,000	10,000
	計	2,379,920	2,227,000
資本的 収支差引	資本的収支差引	▲ 393,565	▲ 362,000
	当年度分損益勘定留保資金等	381,000	262,000
	過年度分内部留保資金	483,326	424,761
	合計	424,761	424,761

(単位：千円)

長期借入金残高	466,000	424,000
---------	---------	---------

㊦ 軌道運送事業

※(一財)札幌市交通事業振興公社予算案

(単位：千円)

項 目		7年度 現計予算	8年度 予算
営業 収支	収入		
	乗車料収入	1,860,000	1,835,000
	広告料収入	64,322	68,228
	計	1,924,322	1,903,228
	支出		
	人件費	649,922	703,728
	経費	782,264	874,531
	施設使用料	989,000	1,018,000
	計	2,421,186	2,596,259
	維持管理費	541,658	613,982
営業外 収支	技術継承等負担金	40,336	39,704
	その他	21,209	19,004
	計	603,203	672,690
	支出	63,718	58,239
	予備費	0	0
	差引	42,621	▲ 78,580
	収益配賦分	0	0
	費用配賦分	40,586	46,569
	差引	▲ 40,586	▲ 46,569
	諸税	0	0
管理 費	収益的収支差引	2,035	▲ 125,149
	過年度分内部留保資金	6,647	8,682
	合計	8,682	▲ 116,467

㊦ 軌道運送事業 + ㊦ 軌道整備事業

(単位：千円)

項 目		7年度 現計予算(A)	8年度 当初予算(B)	差引増減 (B)-(A)
営業 収支	収入			
	乗車料収入	1,860,000	1,835,000	▲ 25,000
	広告料収入	64,322	68,228	3,906
	その他	3,000	3,000	0
	計	1,927,322	1,906,228	▲ 21,094
	支出			
	人件費	749,922	787,728	37,806
	経費	927,270	964,845	37,575
	減価償却費	922,000	866,000	▲ 56,000
	計	2,599,192	2,618,573	19,381
営業外 収支	収入	789,209	849,004	59,795
	支出	127,718	110,239	▲ 17,479
	予備費	5,000	5,000	0
	特別利益	12,000	0	▲ 12,000
	特別損失	0	0	0
	収益配賦分	0	0	0
	費用配賦分	40,586	46,569	5,983
	諸税	0	0	0
	収益的収入	2,728,531	2,755,232	26,701
	収益的支出	2,772,496	2,780,381	7,885
資本的 収支	収益的収支差引	▲ 43,965	▲ 25,149	18,816
	収入			
	企業債	484,000	848,000	364,000
	負担金	1,502,355	1,017,000	▲ 485,355
	計	1,986,355	1,865,000	▲ 121,355
	支出			
	建設改良費	2,006,920	1,876,000	▲ 130,920
	企業債償還金	290,000	299,000	9,000
	他会計借入金償還金	73,000	42,000	▲ 31,000
	予備費	10,000	10,000	0
資本的 収支差引	計	2,379,920	2,227,000	▲ 152,920
	資本的収支差引	▲ 393,565	▲ 362,000	31,565
	年度分損益勘定留保資金	381,000	262,000	▲ 119,000
	過年度分内部留保資金	489,973	433,443	▲ 56,530
合計	合計	433,443	308,294	▲ 125,149

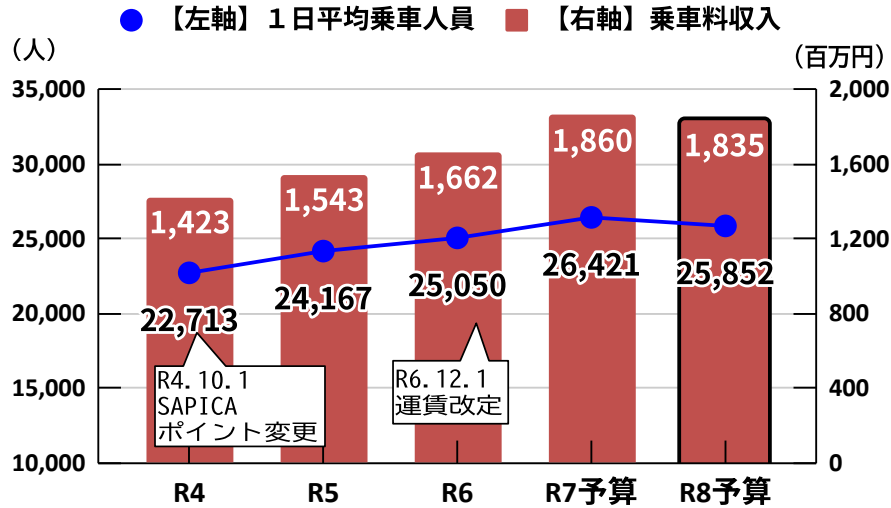
(単位：千円)

長期借入金残高	466,000	424,000	▲ 42,000
---------	---------	---------	----------

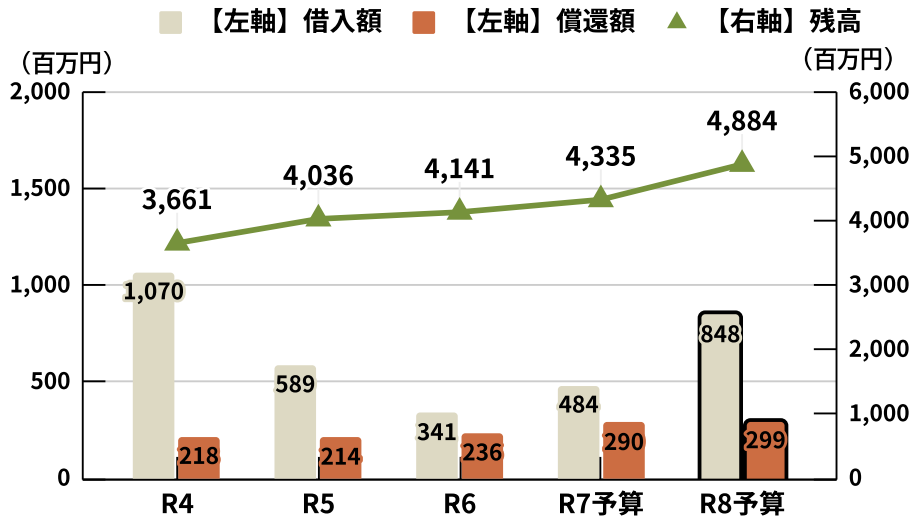
4 財政状況の推移

路面電車

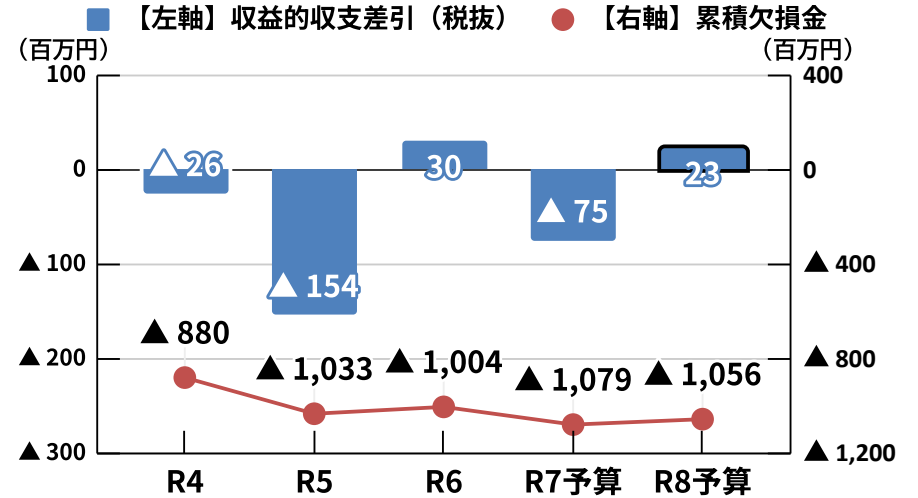
■ 1日平均乗車人員・年間乗車料収入



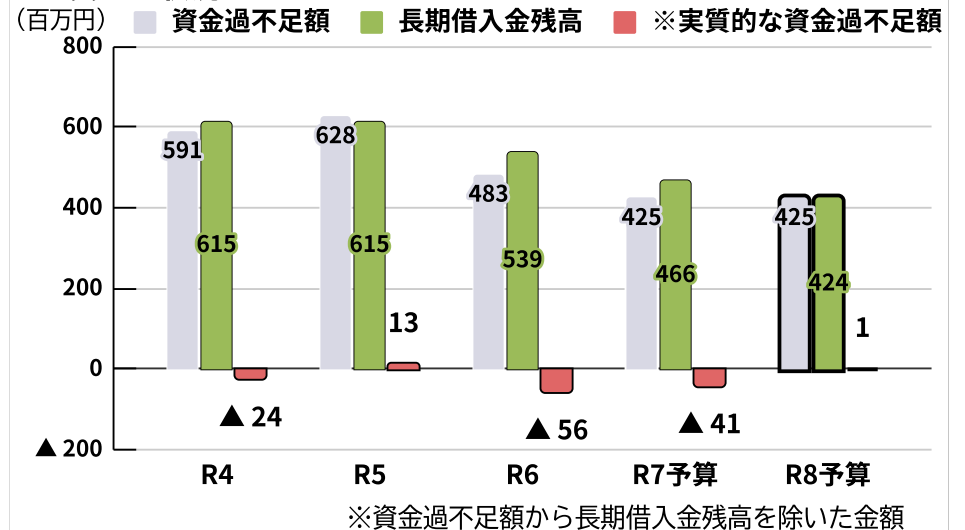
■ 企業債（借入額・償還額・残高）



■ 収益的収支・累積欠損金



■ 資金の状況



1 予算総括表 (高速電車事業会計)

地 下 鉄

(単位：千円)

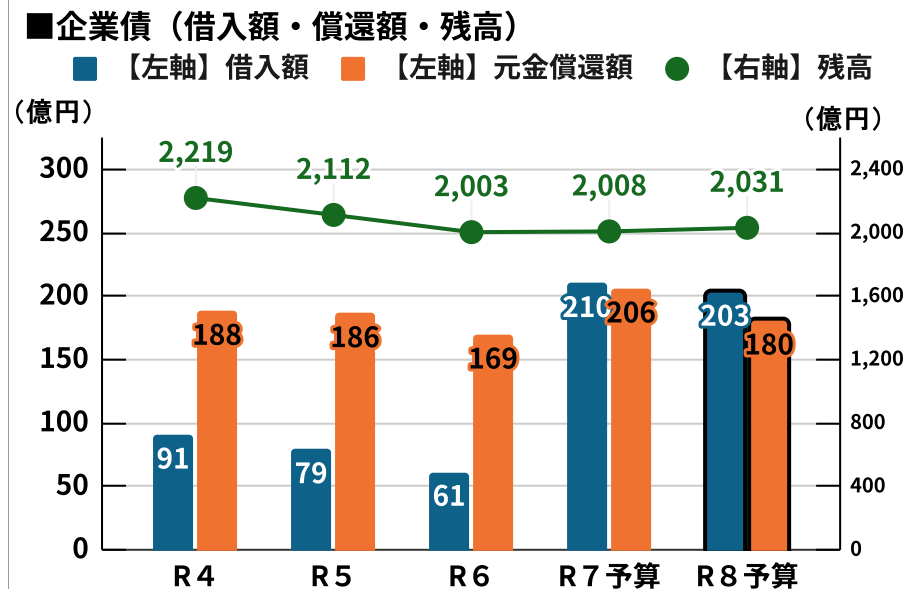
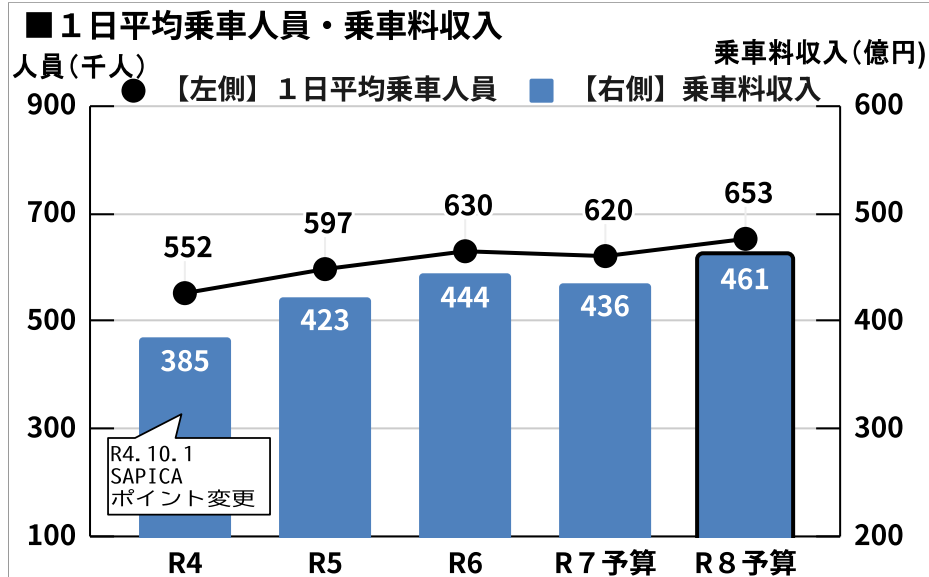
区分			収入				支出				収支差引		
			項目	8年度予算 (B)	7年度予算 (A)	差引増減 (B)－(A)	項目	8年度予算 (D)	7年度予算 (C)	差引増減 (D)－(C)	8年度予算 (B)－(D)＝(E)	7年度予算 (A)－(C)＝(F)	差引増減 (E)－(F)
当年度収入及び支出	収益的収入及び支出	経常収支	営業収益	49,101,000	46,504,000	2,597,000	営業費用	43,302,000	40,445,745	2,856,255	5,799,000	6,058,255	▲259,255
			乗車料収入	46,120,000	43,605,000	2,515,000	人件費	5,541,000	4,848,000	693,000			
			広告料収入	1,236,000	1,168,000	68,000	経費	22,735,000	20,573,745	2,161,255			
			その他	1,745,000	1,731,000	14,000	減価償却費	15,026,000	15,024,000	2,000			
			営業外収益	5,021,000	5,412,469	▲391,469	営業外費用	3,408,000	3,432,469	▲24,469	1,613,000	1,980,000	▲367,000
			長期前受金戻入	3,573,000	3,566,000	7,000							
			その他	1,448,000	1,846,469	▲398,469							
							予備費	40,000	40,000	0	▲40,000	▲40,000	0
			小計	54,122,000	51,916,469	2,205,531	小計	46,750,000	43,918,214	2,831,786	7,372,000	7,998,255	▲626,255
			特別利益	0	0	0	特別損失	8,000	8,000	0	▲8,000	▲8,000	0
	計	① 54,122,000	51,916,469	2,205,531	計	② 46,758,000	43,926,214	2,831,786	③ 7,364,000	7,990,255	▲626,255		
	資本的収入及び支出		企業債	20,311,000	21,035,000	▲724,000	建設改良費	28,488,000	30,763,084	▲2,275,084	収支差引(税抜)＝当年度純利益 ↓ ④ 5,514,000 ↓ 6,193,414 ▲679,414		
			出資金	3,773,000	3,853,000	▲80,000	企業債償還金	18,049,000	20,573,000	▲2,524,000			
			国庫補助金	1,928,787	2,670,012	▲741,225	予備費	20,000	20,000	0			
			他会計補助金	2,350,213	2,984,780	▲634,567							
			計	⑤ 28,363,000	30,542,792	▲2,179,792	計	⑥ 46,557,000	51,356,084	▲4,799,084	⑦▲18,194,000	▲20,813,292	2,619,292
			当年度分 損益勘定留保資金等	11,880,000	11,863,000	17,000					11,880,000	11,863,000	17,000
			合計	94,365,000	94,322,261	42,739	合計	93,315,000	95,282,298	▲1,967,298	⑧ 1,050,000	▲960,037	2,010,037
			前年度末内部留保資金	5,939,810	6,899,846	▲960,036					5,939,810	6,899,846	▲960,036
総計			100,304,810	101,222,107	▲917,297	総計	93,315,000	95,282,298	▲1,967,298	⑨ 6,989,810	5,939,810	1,050,000	

※ 7年度予算(A)は現計予算(決算置換・繰越を含む)である。

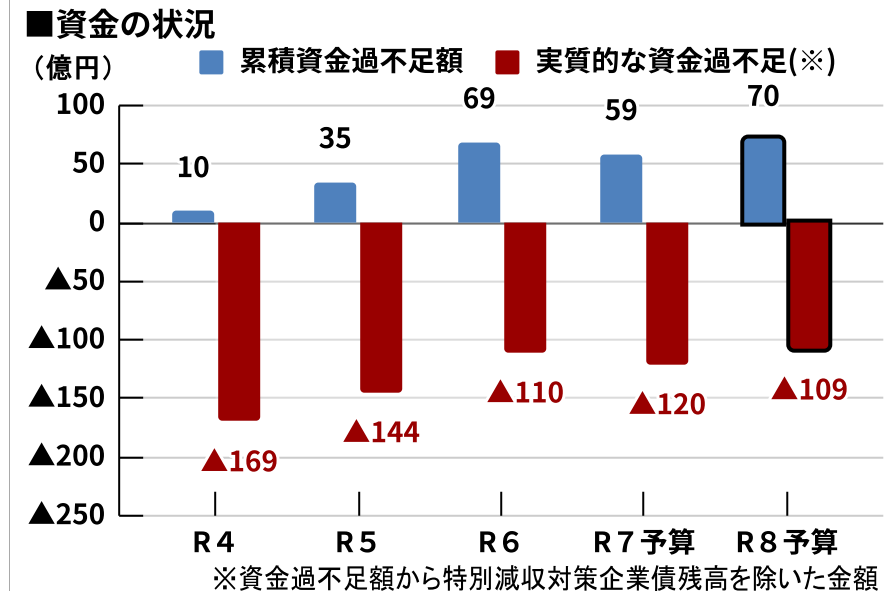
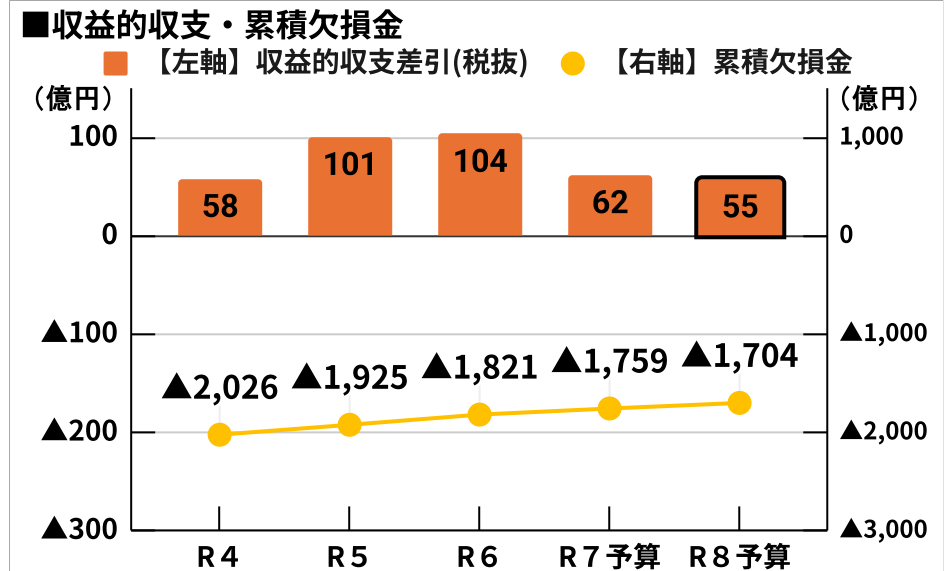
※ 8年度予算(B)の当年度損益勘定留保資金等は、減価償却費15,026,000千円、固定資産除却費338,000千円、長期前受金戻入▲3,573,000千円、引当金計上額及び取崩額等の資金調整額89,000千円を加えたものである。

※ 8年度予算(B)の地方財政法上の資金不足額は、総計6,989,810千円から特別減収対策企業債残高(固定負債分)17,849,000千円を差し引いた額10,859,190千円である。

4 財政状況の推移（高速電車事業会計）



地下鉄



老朽化対策

南車両基地改築ほか工事(耐震改修等)

R8 : **6,663百万円**
期間 : ~R15
総事業費 : 396億円

開業から50年以上が経過。R8年度は、既存車庫棟等の一部解体及び工場棟等の新築を行う。



本局庁舎ほか大規模改修工事

R8 : **1,044百万円**
期間 : ~R10
総事業費 : 98億円

ZEB認証の取得を含めて改修を行う。
仮庁舎への移転期間(予定)
:R8年7月頃~R10年8月頃



駅リフレッシュ改修工事(北18条駅)

R8 : **40百万円**
期間 : ~R10
総事業費 : 13億円

【改修計画】
R7~8年度 : 設計
R9~10年度 : 工事
※R9~R10年度に北12条駅の設計予定



バリアフリー化

段差隙間縮小に向けた駅ホーム改良工事

R8 : **410百万円**
期間 : ~R8
総事業費 : 8.0億円

【改良計画】 R6年度 : 4駅
R7年度 : 24駅
R8年度 : 21駅
(全駅完成予定)



エレベーター新設工事(大谷地駅)

R8 : **217百万円**
期間 : ~R8
総事業費 : 5.5億円

地下鉄とバスターミナル間に、新たなバリアフリー経路を整備するため、エレベーターを増設。



新型低床車両の導入(路面電車)

R8 : **368百万円**

【低床車両数】
R8年度末 : 16両/36両

バリアフリー対応の低床車両(ポラリスII、定員75名)を1両導入。※シリウスより定員15増



安全対策

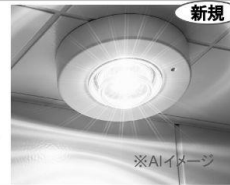
地下鉄車内防犯カメラ設置

R8 : **203百万円**
期間 : R6~R9
総事業費 : 5.5億円
東豊線はR8年度、南北・東西線はR9年度に設置が完了。



光警報装置新設工事

R8 : **192百万円**
期間 : ~R9
総事業費 : 2.0億円
主に聴覚障がい者や高齢者に対して火災を光で伝える装置を全駅トイレに設置。



増収対策

デジタルサイネージ広告事業

R8 : **72百万円**

大通駅に大型のLEDディスプレイを新設。
広告の募集はR9年度から開始。



副駅名看板広告(収入予算)

R8 : **20百万円** (収入)

既存の13駅に加え、新たに8駅(幌平橋、宮の沢、新どっぽろ、福住ほか)を募集。



サービスアップ

暑さ対策

R8：98百万円

・地下鉄車両空調装置の搭載検討業務

R8：61百万円
冷房装置搭載の実現可能性について調査を行う。

・スポットクーラー設置

R8：13百万円
南北線の各駅ホームにスポットクーラーを設置する。全60台。

・暑さ対策検討業務

R8：5百万円
南北線高架駅について、現状の調査及び暑さ軽減の手法を検討する業務を行う。



新規

大通定期券発売所の移設整備

R8：264百万円

利用開始：R9予定
総事業費：2.7億円

利用者の待合スペースを確保した定期券発売所を整備。



新規

クレジットカード専用定期券発行機導入

R8：債務負担設定のみ
利用開始：R11予定
総事業費：7.0億円

現在、定期券発売所のみクレジットカード決済に対応しているため、全駅にクレジットカード決済専用の発行機を1台ずつ設置。



新規

新技術への対応

南北線シェルタードローン詳細点検

R8：8百万円

ドローンにより高所部の詳細の点検を行うもの。
通常よりも短期間で点検を終えることができる。



新規

次世代乗車システム

・次世代乗車システム検討業務

R8：25百万円

将来の磁気券廃止を見据えて、QRコード乗車券の導入に向けた検証を行う。



レベ

・クレカ乗車の普及・促進【地下鉄】

R8：32百万円

クレカ乗車の上限運賃制を導入し、対応通路を増設。



【路面電車】

路面電車全車両でクレカ乗車をスタート。



人材確保

地下鉄駅業務等委託料

R8：4,676百万円

人手不足の中で処遇改善を図るため、従事者給与水準を見直し。

地下鉄乗務員のキャリアパスの多様化を図り、旅客対応水準の向上のため、R9年度から委託範囲の見直しを実施。R8年度は実施体制を検討。



レベ

駅業務省力化関連事業

R8：288百万円

駅業務の省力化のため、新たな技術を導入するもの。

R8は、一部駅で「シャッター自動開閉システム」、「ICカードリモート処理機」、「POSレジ」を先行的に導入し、R9から運用を開始。



新規



「POSレジ」
現金の取扱いの効率化